



八幡小だより 11月号

令和7年10月31日
八潮市立八幡小学校
児童404名 16学級

言葉が心を動かすとき

校長 小久江 桂子



最近、子供たちの何気ない言葉の中に、思いやりや優しさを感じるものが多くあります。10月8・9日に行った修学旅行でも、このことを痛感しました。

「行ってきます！」と、元気な挨拶で学校を後にし、いざ鎌倉へ。バス車内では、「酔っていない？大丈夫？」と、自分がバスレクを楽しむだけでなく、友達の体調を気遣う言葉が。素敵☆午前中は、行動班ごとのグループ活動でした。「一緒に写真を撮ろう。」と、お互いに楽しい思い出を大切にしようとする言葉が。素敵☆「少し休憩する？」と、疲れている友達を気遣う言葉が。素敵☆昼食会場では、「この鳥飯、美味しいね。」と、食事を楽しむ温かな言葉が。素敵☆

箱根のホテルでは、「この明るさで眠れる？」と、慣れない部屋に不安を感じる友達に寄り添う言葉が。素敵☆大涌谷では、「楽しかったね。一緒に行けてよかった！」と、感謝と友情が込められた言葉が。素敵☆お土産購入時には、「これ、家族が好きそう。喜んでくれるかな。」と、旅行の楽しさを家族と分かち合いたいと思う優しい言葉が。素敵☆全ての言葉と行動に感動しました。



こうした言葉や行動は、どれも「相手を大切に思う心」から生まれています。だからこそ、たった一言の優しい思いやりの言葉が、人の心を動かすのだと、私は感じています。

今日も、学校は、子供たちの優しい言葉であふれています。そして、子供たちの笑顔であふれています。

今後も、教職員一同、言葉を大切にする指導を継続して行ってまいります。ぜひ御家庭でも、お子様と『言葉の力』について話していただけると幸いです。優しくて温かな言葉の輪が、家庭から学校へ、そして地域へと広がってくれと嬉しいです。



八幡小のホームページを活用して、随時子供たちの様子を配信しています。
ぜひ、ご覧いただければ幸いです。

←本校ホームページ用 QR コード(読み取るとページに移動します。)